

山行NO 山行NO. 1808
日時 2019.03.08 (金) 晴・上部風あり
山域 乗鞍岳(3026m) 約2610mまで
コース かもしか平(ゲレンデ最上部) 発9:25—位ヶ原下11:05—肩の小屋下(約2610m) 12:15—国民宿舎14:30
標高差 上り かもしか平約1980m~肩の小屋下約2610m=約630m
下り //

参加者 後藤・加藤=2名

今期初山岳スキー。

焼山北面台地を予定。木曜日、笹倉温泉に向かった。

しかし、久しぶりの大寒気の南下と低気圧。大町を過ぎると雪だった。

糸魚川から笹倉温泉に向かうと、降雪量は更に増えて半端でなかった。

笹倉温泉途中まで上ったが、明日、下手をすると車が走れない可能性があった。

しかも、春の重たい雪。雪崩があれば、ひとたまりもない。

断腸の思いでUターンし柵池に向かう。

柵池に着いたが雪はますます凄い。一縷の望みで、とにかく寝た。

2時ころ起きた。降雪量は凄い。朝までいたら車は動けなくなる。

駐車場には数えるほどしか車はない。

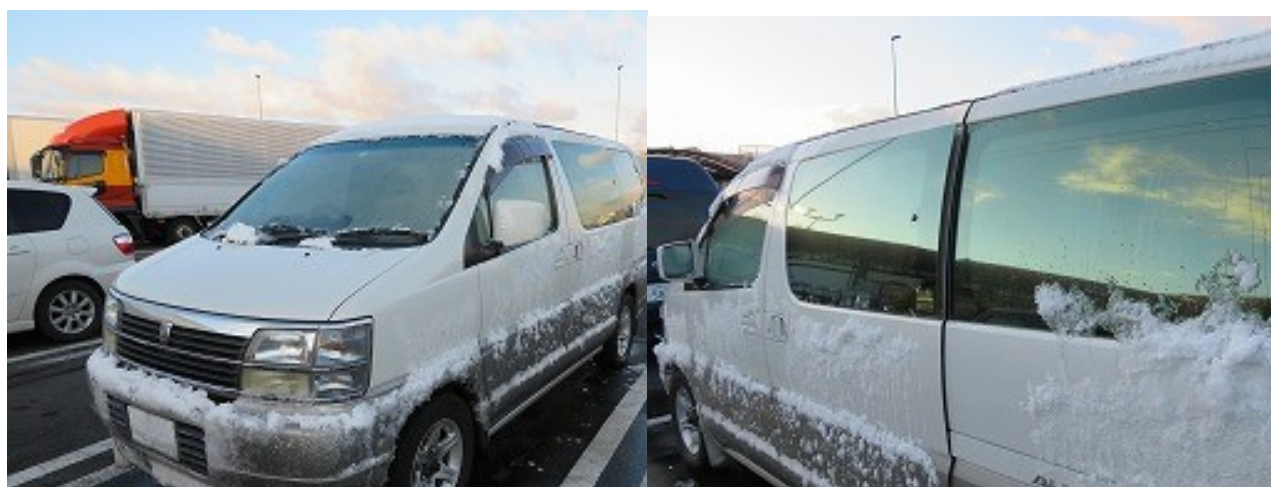
スマホで天気を確認すると、何と乗鞍方面は晴れ。

兎に角、この重い大雪では、明日晴れても登山は出来ない。春先の大雪は雪崩が怖い。

ここは潔く、乗鞍に向かった。

大町を過ぎると雪は小降りになった。梓川SAに入ると、我々の車だけ雪ダルマだった。

妙高方面も雪のハズだが、意外だった。



雪まみれの愛車

久しぶりの乗鞍のスキー。

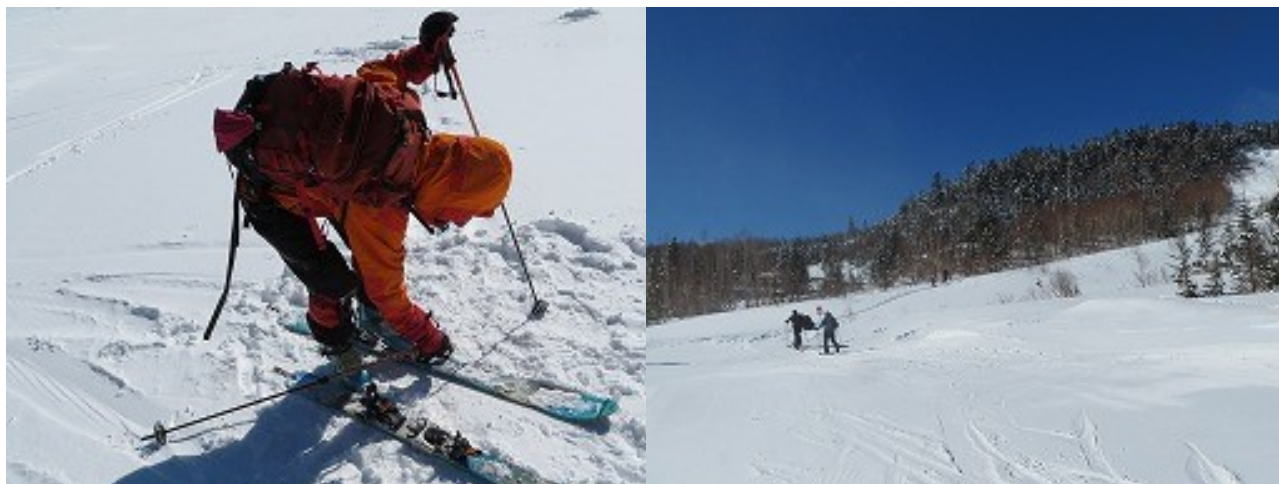
春は昨年6月に来たが、冬は2009年以来だった。昔は随分来たが・・・。

8:45、リフト代金12000でリフトに乗る。

天気は良く冷え込んだ。だが、例によって風はもう吹き出した。

かもしか平から歩く。金曜日の平日だが登山者は多い。

ワカン・スノーシューも数名。最初の壁は問題なかったが、季節外れの重い大雪はここも同じ。滑降が思いやられる。



かもしか平

グングン上るといいたいが、そうはいかなかった。

今期、初スキー。シール上りは、なかなか厳しい。何人かのワカン・スノーシューに抜かれる。

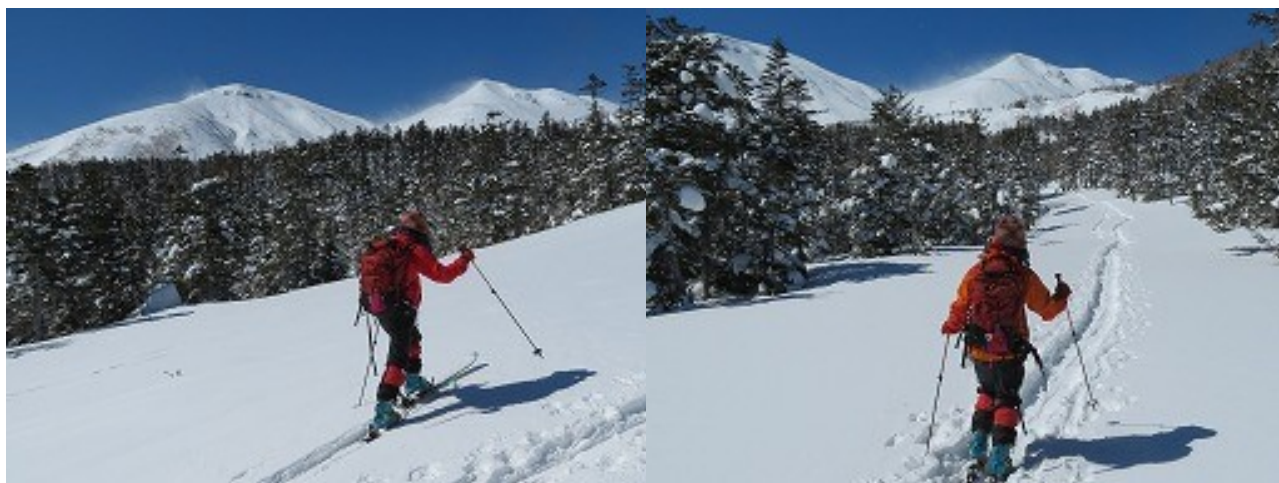
寝不足が効いていた。梓川SAは煩くて休めないのが原因。

そもそも、乗鞍のようなダラダラ上りは好きでない。

それでも切り開きから仰ぐ乗鞍は荘厳で気高い。

強風でポンポンと生き物様な雪煙を上げていた。

「やっぱり来て良かった」と思うのは、こんな時だ。



位ヶ原下の壁も全く問題なかった。

大きな「キスリング」の何処かのオジサンが座って休んでいた。

聞けば、写真を撮りに来たという。

今日はテン泊だが、風が強い位ヶ原は、どうしたものかと思案顔だった。



何処かのオジサン（ザックは最近では珍しいキスリングだった。ワカンも木製）

位ヶ原に乗った。

昔と変わらない。風も相変わらずだ。ただ、今日は「モーレツ」という程でない。

なだらかな上りをシーリングして行く。

神々しい乗鞍が大きい。

肩の下の林道に着いた。夏の出発点だ。

ワカン組の若い衆が2名頂上を目指した。後から1名ワカンなしアイゼンの若い衆が続く。



あれほどいたスキーヤーは、我々のほか1名。

皆、富士見沢方面に行った。過激な？スキーヤーはその方がイイか。

我々はここで終了。何故か大いに疲れた。寝不足・高高度・ややラッセルの影響だろう。

少し食べて滑降。カメラは寒さで作動しない。後で見たらGPSもアウトだった。

上部の滑降はマアママ。壁下は深く重いモナカで最悪だった。

一年ぶりの山岳スキーでラッセルとモナカ。ま、お山は厳しかった。

それに荷物が重かった。皆さんは軽装だ。去年の蓮華もそうだった。春の重雪は、重荷では厳しい。

かくして、初山岳スキーは、何とか終わった。



雪山は荘厳で美しい・・・

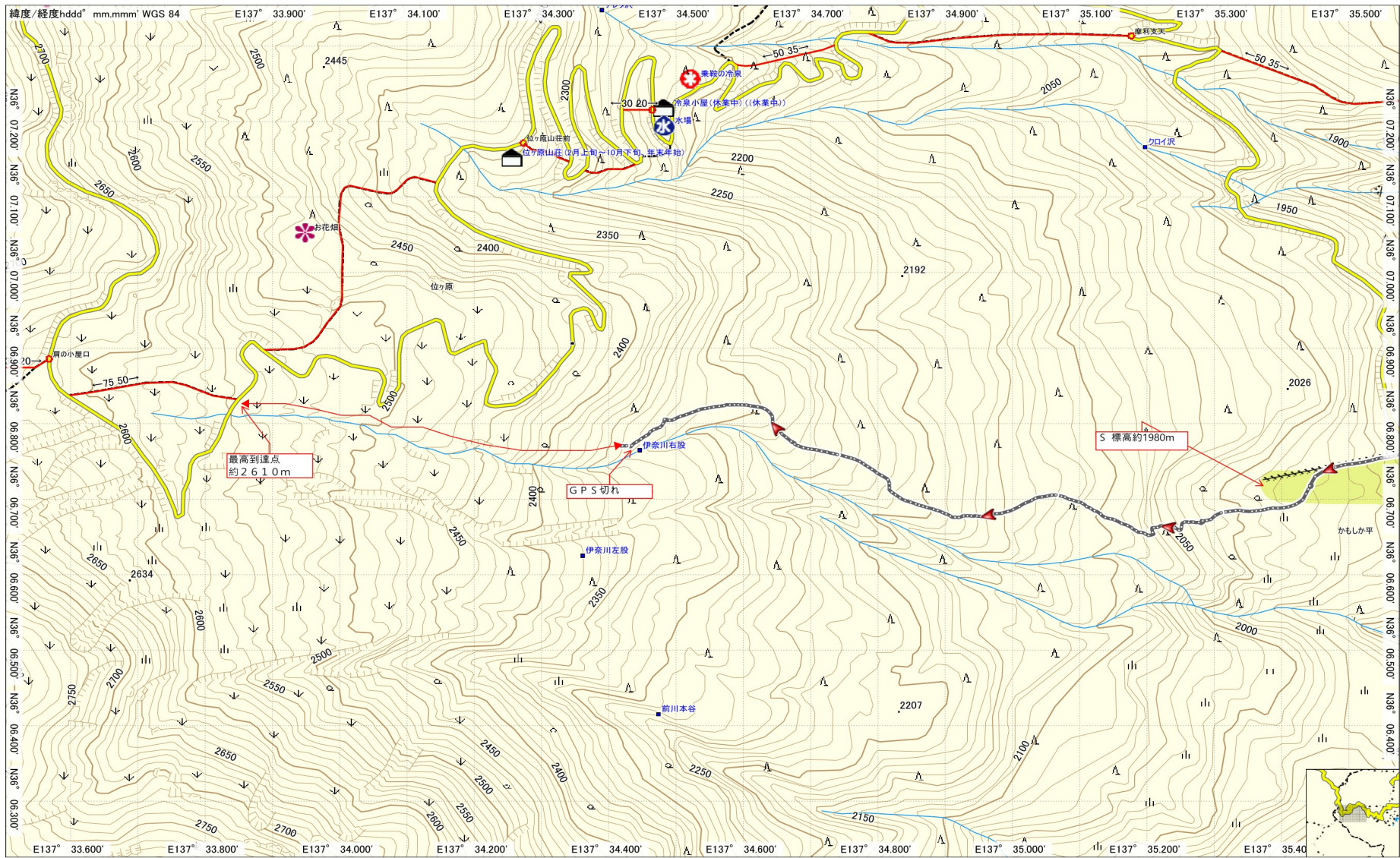
【あとがき】

1. 9日、ネットを見たら8日、柵池で雪崩が発生し1名が意識不明の重体。場所はビジターセンター付近だが、やはりどこでも油断は出来ない。

<http://rindow33kai.grupo.jp/blog/2472413>

2. もしかか平に看板があって、事故の際に掛る経費が表示してあった。ちなみに救助は2万、雪上車は5万だった。以前はなかったが、事故が多く啓発の意味だろう。

(了)



Japan Topo 10M Plus V2
 CesiumMaple Co., Ltd 0141
 Garmin Corporation 1990-2014

2019/03/10 6:43:51